

一歩

いつから始めるの？

は、「今でしょ！」と言ってほしいですが…

昨日、一昨日は、実力テストの過去問題練習に取り組んでもらいました。初めての実力テスト問題に、前向きに取り組めたでしょうか。

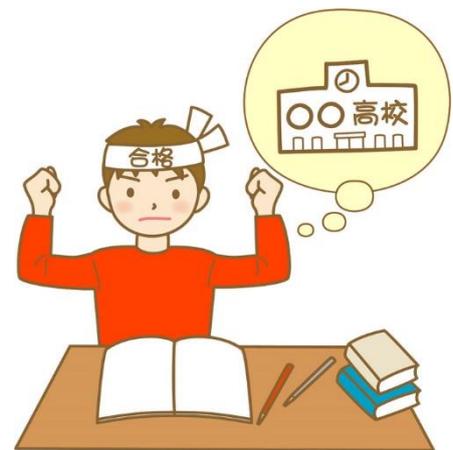
初日は「やらなくてもいいですよ」といった練習問題に消極的な声も聞かれました。問題練習なんて、面倒くさいですよ。生徒の正直な気持ちから出た言葉だと思います。

質問

あなたは、いつから受験勉強をがんばり始めますか？

答えは「いつでもいい」のかもしれませんが。実力を持っている人で、自分の実力で絶対合格可能な進学先を希望している人は、今のまま取り組めば希望する高校に入学できることでしょう。でも、このような人は少ないのではないのでしょうか。

おそらく多くの生徒は「もっと力を高めたい」と思っているのではないのでしょうか。もっと力を高めたいという人は、一日でも早く学習をスタートさせましょう。しかし、「勉強はしたくない」という思いがあり、取り組めない人も多いと想像します。「やらなくてもいいですよ」も、このような生徒の言葉なのではないかと推測します。



これまで、特別学習など家庭学習にコツコツと取り組んできた人は、今後もその調子でがんばってください。

「もっと力を高めたい」と思っているが「勉強はしたくない」人は、どうすればいいのでしょうか。こういう人の多くは、自分のやる気が出るのを待って、やる気になったらがんばる予定かもしれません。



かつて、こういう生徒と保護者がいました。生徒は、自分の意志ではなかなか家庭学習に取り組めない生徒でした。学力を学年順位で見ると下から数えた方が早いぐらいの力しか発揮できていませんでした。本人は「そのうち始めます」と言うのですが、自分から家庭学習に取り組むことはありませんでした。保護者も「本人がその気にならなければやらないと思うので待ちます」と生徒のやる気を尊重し、冬休み前12月の三者面談まで子どもが学習に取り組まないままにいました。12月の三者面談でその保護者は、「今からでもがんばれば、県内トップレベルの学力の高校でも合格できると信じています」と言い切り、冬休みから子どもと一緒に取り組み始めました。3月の公立一般入試に焦点を絞り努力しましたが、残念ながら希望する高校に合格はできませんでした。

この保護者は、子どもに対して勘違いをしていました。

自分の子どもは「まもなくやる気になる」と信じていました。やる気になったら「自分で勉強に取り組める」、取り組めば「学力はすぐに上がる」といくつもの勘違いをしていたのです。

勘違いという言い方は失礼な表現かもしれませんが、子どもを信じるあまり、子どもは、親が思ったときにはやる気になってくれて、やる気になれば子ども自身が勉強に取り組むことができ、結果もすぐについて成績が上がると信じていました。残念ながら、取り組もうとしてきたら、どのように勉強すればいいかわか

っていないことにその時になってやっと気づく生徒もいます。自分で勉強してこなかったのは、やってもできなかったためにあきらめたからかもしれません。勉強に取り組み始めても、すぐに結果が出ることはありません。学習でもトレーニングでも結果が出始めるのは3ヶ月からと言われています。



勉強の開始時期が遅くなれば、学習内容の理解が不十分のまま入試に臨むことになり、不合格になってしまうのは仕方がない当然のなりゆきと理解していただけるでしょうか。

受験などで、生徒は自分自身がどのくらいの力があり、他の生徒の中でどの位置(順位)にいるのかを正確に把握できることが望ましいです。自分の実力と他の生徒の実力を把握できないままでも珍しいことではありません。実力テストを経験し、結果を知ることによって自分の位置を知っていきます。その経験がない現時点では、受験や高校に対して、うとい、知らない、気づかないのは当然かもしれません。

今回の実力テストの練習は、自分の力試しです。「入試レベルでどのくらい得点できるか」を知らないで受験生とは言えません。

生徒の中に、自分のことを簡単に「天才」と言う人がいますが、それも周りを知らないための安易な言葉なのでしょう。自分で「天才」と声高らかに言っていると、周りから「また言っているよ」とあきれた目で見られますよ。

